

vol.
12732020・2021
MEETINGYAMAGATA CENTRAL
JAPAN

CLUB NEWS

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30~13:30(但し第5週は18:30~) 会場 ホテルメトロポリタン山形

■会長 長橋 正人	■職業奉仕 今野久仁正	■副幹事 佐竹 猛
■会長エレクト 石山 徳昭	■社会奉仕 諏方 均	■会計 阿部 美春
■副会長 玉ノ井憲史	■青少年奉仕 鹿野 淳一	■S A A 柴田 修英
■直前会長 小林 敏郎	■国際奉仕 奥山 宏	国際ロータリー会長 シェカル・メータ(インド)
■クラブ管理運営 相川 博昭	■幹事 佐藤 太	第2800地区ガバナー 矢口 信哉(東根)
		第5ブロックガバナー補佐 結城 和生(山形西)

◆日時 / 2021.11.30 18:30 ◆例会場 / ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング / 奉仕の理想

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

▶ 会長挨拶



皆さん、こんばんは。最初に本日のゲストをご紹介致します。ホテルメトロポリタン山形の上席執行役員総支配人の渡邊 隆様です。今日はクラブフォーラムという事で、ゲスト卓話として渡邊様のお話を頂戴致します。本日は宜しくお願い致します。そして、今回はもう1人、新入会員卓話として鈴木陽子さんからもお話を頂きます。鈴木さん、宜しくお願ひします。次にご報告が遅くなり大変申し訳ありませんが、先頃、今野さんが「都市緑化功労者国土大臣顕彰」に賞されました。おめでとうございます。普段から顔を合わせたり、電話でお話していくうちに一言も触れられませんでしたので遅くなってしまいました。本当におめでとうございました。

さて、ニュースでも報じられております通り、新型コロナウイルスに関して、南アフリカでオミクロンという新たな変異株の感染事例が報告され、アフリカ南部は元より、アッという間にヨーロッパ諸国やオーストラリア、そして香港へと感染拡大しております。このオミクロン株、まだまだ解らない事だらけで、各国とも対応に苦慮している様ですが、日本ではいち早く全ての外国からの入国を原則禁止にするという措置が取られました。過剰反応であるとか慎重過ぎるとの意見も

見られますが、これから年末年始に向けて人の流れが増大し、密になる機会も増えることを考慮すれば個人的には今回の措置は「岸田さん、グッジョブ！」という感じであります。

ウイルスに関して、面白い学説があるそうで、ひとつは異なる複数のウイルスは共生出来ない、つまり同時に感染が拡大する事はない。これは最初の新型コロナウイルスがデルタ株にという変異株に置き換わり感染が拡大した事を指すそうです。もうひとつは、感染力が非常に強いウイルスは重症化しにくく、重症化し易いウイルスは感染力が弱いというものだそうです。あくまでこういう説があるという前提ですが、これを日本に当てはめると、現在デルタ株も含めた感染者数が非常に減少している状況下で、このオミクロン株が日本に入ってくると瞬く間に感染拡大するリスクが高い訳で、そういう点からも今回の入国禁止措置は正しいのではないかでしょうか。何れにしてもこれまで通り、過剰に委縮することなく、普通に注意しながら生活を送る事が大切だと考えます。

中央ロータリーもこれから年次総会、クリスマス例会、新年会と行事が目白押しですが、現在の処、計画通りに実施させて頂く所存ですので、宜しくお願ひ致します。本日も宜しくお願ひ致します。

▶ 本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	38名	—	23名	—
修正出席				
他クラブでマークアップされた会員				



クラブフォーラム

ホテルメトロポリタン山形
上席執行役員 総支配人 渡邊 隆氏

皆様こんばんは、只今ご紹介賜りました。ホテルメトロポリタン山形総支配人の渡邊隆と申します。山形中央ロータリークラブの皆様におかれましては、平素よりお引き立ていただきまして、高い所からではありますが、この場をお借り致しまして御礼申し上げます。また本日はこのような機会をいただき大変光栄に存じます。拙いお話になるかもしれません、ご指名でございますので「地域No1ホテルになるための取り組み」と題しまして、お話をさせていただきますので、しばしの間お耳をお貸しいただければ幸いに存じます。

私はつい6月迄総料理長を務めておりました。ホテルにおいて調理部から総支配人になり経営を任されるというのは、稀な人事だと思いますので、それまでの経歴を簡単に自己紹介させていただきます。高校卒業後、仙台市内の調理師学校を経てフランス料理人の道を目指します。幼い頃から「兼高かおるの世界の旅」グラハム・カーの「世界の料理ショー」というTV番組が大好きでこの影響を大いに受けて、スイスのマッターホルンに登りたいとか、イタリアのベニスでゴンドラに乗ってオーソレミヨを歌いたいとか、舌平目クリーム煮ってどんな味がするのだろうなど、特に外国文化に興味を持ち、好奇心旺盛で海外に行きたいという想いがどんどん強まって行きました。

21歳の時チャンスが訪れます。私の勤めるホテルのシェフからトルコ共和国日本大使館の公邸料理人にならないか?と打診がありました。フランスではありませんでしたが念願の海外での仕事のオファーでしたので、数日考えたうえで受けすることにしました。**その間イスタンブールからフランスパリまで5日間掛けてバスで渡航したり、2か月近くボストンバックに一眼レフを入れて欧洲旅行をしたりしてトルコ共和国の首都アンカラに渡り21歳で日本大使館のシェフとして3年8か月間海外での経験を積んできました。トルコ風呂からソープランドに名前をかえたのもこの頃です。**

その後帰国してから昭和64年新規オープンしたホテルメトロポリタン仙台の洋食部門に入社して修業を積み、宴会シェフやレストランシェフを歴任して46歳の時調理部長副総料理長に就任して12年間勤めました。メトロポリタン山形に総料理長として4年前に赴任して今年の6月に総支配人を拝命しました。33年間長きに渡りメトロポリタンホテルに勤めてきたことになります。波乱万丈色々なことがありました。

1.精神論や哲学は重要だと考える

5つの哲学「ナチュラル」SDGS 持続可能に繋がる「ユニーク」NO1 よりオンリーワン 英語を勉強したり、全国フランス料理コンクールに挑戦したり、50近くになりワインソムリエやサケディプロマなどの資格を取得。今のニッチに人がやらないものに目を向けて独自性を出してきました。「アルチザン」伝統と職人技にこだわる。フランス研修やクラシックのフランス料理を学ぶことを大事に考えていました。

「エンターテイメント」お客様にいかに楽しんでいただけるか。ステージや照明、メニュー表やお花装飾品にいたるまで様々な総合演出 「テロワール」地産地消・地域創生

2.素材を生かし素材にこだわる。山形の素晴らしい食材たち

3.これまでの取り組み 地域貢献・復興応援・地産地消・食育授業

4.今後のホテル運営の5つの方向性 敬愛する野村監督のお言葉に 財を遺すは下、仕事を遺すは中、人を遺すは上となす」見事にヤクルト優勝 人材の育成に力を入れていく。仙台においても部下を教育していた。
**新理念 地域とのコミュニケーションを大事にしていく
皆を幸せにしたいという利他の心。**

6.今後の懸案事項

人材不足を踏まえて5Sで作業のムダを取り除き、おもてなしに全集中。トヨタのムダ、加工、在庫、造りすぎ、手待ち、動作、運搬、不良、手直し(クレームをなくす) Plus Solution 改善、解決する徹底して顧客満足度を上げていく

これからどのような、GMを目指していくか

1.Hands On 現場百回、現場を見る、関与する。他人事ではなく自分事

稻盛和夫さんのお言葉に仕事の不平不満を消し去る唯一の方法

2.今ある目の前の仕事に臆もふらずに、不平不満を洩らさない全身全霊を懸ける。Passion 情熱を絶やさないことが大事。

3.最後は明るい笑顔



機会御礼 会員様のマイホテルとして 「なりきり妄想人生」

ホテルメトロポリタン山形 鈴木 陽子 会員

期待も目標も妄想も、全ては「思うことから」
自分でやることはとことんやる。
自分が出来ない事、届かないことは「誰かに伝える」
伝えることで、その誰かが動かしてくれたり手を貸してくれたりヒントをもらえたりする。

自分が感じて思うことで、どうやったら動くか考え、
動いたあとのこと想像するからこそ、脳が信号を出し、動かす行動につながる。

自分が動くことで、何かを動かしたり、何かを変えられたり、見えなかったモノや、今まで見えていたものと違う面や、本当の姿が見えたりすることが出来る。

登ってみなければ、見えない景色があるように、「やってみなければ、わからない」失敗してみて初めて、成功が何なのか、成功したのかどうかがわかる

まずは、思ってみるとこと、やってみるとこと、やってみて初めて結果が出る

そして、違うことも見て、違う方法を考え、違う方法でやってみると行動に繋がるのではないか

「思考と行動の繰り返し」

どんなことも、この思考と行動の繰り返しで、常に無意識に行っているのですが、無意識から意識することに変わった時が、目的をもって動くに変わる瞬間かもしれません。

思うことから始まる行動、チャレンジを面倒くさがらずに、楽しんでいます。

人生の岐路「父の死からの大きな変化自己革新」

小さい頃は、自分の小さな世界で、3番目の待望の女の子として、父や兄たちにチヤホヤされながら育ちました。そんな中、小学2年の時に、最大の味方であった父との死別により、私は大きく変化することになったのです。忌引き中の「私のお父さん」という作文の宿題。家中、葬儀後でバタバタとしている中、無茶ぶり宿題に向き合ったことで、冷静に父の死を受け止め、思い出を振り返ることが出来ました。そして、これから何をしなくてはならないのか、覚悟をするきっかけとなりました。学校では随分問題になったようですが、40年以上たった今でも、父との7年間を鮮明に覚えていますし、窮地に立った時、冷静に物事を見て、考える力を持つ事が大

事であると学ばせてくださった当時の担任に感謝しています。

「やってみる」

父が他界してふさぎ込む母の笑顔を取り戻したくて、当時7歳の私は自己変革を誓いました。体が弱く小さかったので、体育の授業はいつも見学、マラソンは時間内にゴール出来ないので、ショートカットコースしか走ったことがありませんでした。完走したこともない私は、一位でゴールしテープを切りたい。いつもコース途中で心配していた母をゴールで待っていてほしいと思ったのです。

誓ってから一年間、毎朝マラソンコースを走り、真っ黒に焼けた健康的な中身男子の出来上がりです。何年かかりましたが、見事に一番でテープを切ることが出来ました。毎日沿道で見守ってくれた町の人達の声援を受けることで「やり遂げる力」を培いました。「テープを切る妄想」と「やれば出来る」の実践でした。

「出会い」

夢があり短大進学が決まった中で、滝の湯ホテルの女将との出会いから、私の人生はまた大きく変わりました。「あの人のように」その憧れだけで、日本のおもてなしを一年学ぶことになりました。ホテルマンに憧れ、最初は一日3時間のアルバイトからスタートでしたがホテルメトロポリタン山形開業と同時に社員として勤務させていただいています。

ホテルへの憧れと、総支配人になりたいという妄想から、猛勉強、訓練を続け、経験がすべてだと思い、国内いろんなホテルに行って泊まってみたり、食事をしたりと給料の殆どは体験することに使いながら、スキルを上げ妄想し、ここぞという時に「自分が出来ること」を誰にも負けない気持ちと勢いだけで、現在も猛進中です。

私は、何かを始めるときに考へるようにしている事があります。何の為に(目的)→何が出来る(可能性)→そのために何をするか(手段)ということです。

無意識に考へることが出来るのは「妄想が得意だから」です。これからも、出来た自分を妄想し、楽しみながら生きていきます。

ニコニコ・情報

鈴木陽子／本日は総支配人卓話及び会員卓話の機会をいただきありがとうございました。これからも皆様にとってのマイホテルになるようにつとめてまいります。

今野仁久正／ありがとうございました。

後藤完司／渡辺総支配人さんと鈴木さんのお話に感謝。

玉ノ井憲史／今野さん授賞おめでとうございます。これからも体に気をつけて頑張って下

さい。

石山徳昭／渡辺総支配人の卓話、鈴木会員の卓話共に大変わかりやすく、自身の参考にさせて頂きたいと思います。ありがとうございます。今野会員受賞おめでとうございます。

長橋正人・佐藤太／渡邊様、本日はお忙しい処ありがとうございました。鈴木さん、今後共宜しくお願い致します。

会員・情報



ポールハリスフェロー
2回 安藤英男 会員
3回 金子昌弘 会員



都市緑化功労者国土大臣顕彰
今野久仁正会員